

令和2年4月22日

コロナ禍における実地研修を伴う科目の令和2年度の措置についての方針

教務委員長 積山薫

実地研修を伴う科目について、今年度は対面での実施が困難なため、次のような方針で対応を検討しています。詳細は授業開始後に順次お知らせしますが、現時点で方針について周知しておきます。

○サービスマーケティングA（45時間相当）

オンラインでの芦生研修の実施を検討中であり、詳細は後日連絡。

○サービスマーケティングB（45時間相当）

老人ホーム研修は中止。

国内外におけるオンラインでのボランティア活動を自ら積極的に探して参加することを推奨。

高島先生（WASAVI）企画の海外サービスマーケティング（ラオス研修）への参加も推奨。

上記のどちらにするかは、5月中旬までに決定してもらいます。

○武者修行

年度内に行けない可能性が高いため、今年度は博士論文に向けた研究に専念することを推奨。

4年生は、来年度にPBRと同時並行で実施することを視野に入れる。

今年度については、武者修行（特殊研究Ⅱ）を5年次進級の要件としないことを検討中。

○PBR（特殊研究Ⅲ：180時間相当、の一部）

サイバーワークショップの開催等、オンラインでできることを推奨。

○海外サービスマーケティング（旧カリキュラムの特別研究Ⅱ：90時間相当、の一部）

ラオス研修。

オンラインでの事前研修のうえ、9月または3月ラオス渡航を目指す。9月渡航が難しい場合には次のいずれかの追加活動で単位を認定するが、渡航が可能になった場合は3月渡航に参加することが望ましい（渡航費用10～15万円は自己負担）。

- 1) TV 会議等を通じてラオス学生等との議論
- 2) 国内で入手可能な情報や先行研究等を用いた机上調査作業

備考：旧カリキュラムの 2 年生は必修（特別研究Ⅱ）、新カリキュラムはサービスマーケティング B の選択肢。

2017 年度以降入学者はオンライン等による履修だけでサービスマーケティング B の 1 単位（45 時間）分の履修が可能であるが、WASAVI による企画趣旨から、もし渡航が可能な場合は 1 年生もできるだけ渡航に参加すること。